平成23年９月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年８月10日

上 場 会 社 名	株式会社エスケーアイ		上場取引所　大
コ ー ド 番 号	9446	ＵＲＬ	http://www.ski-net.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)　代表取締役社長		(氏名)　酒井　昌也
問合せ先責任者	(役職名)　常務取締役管理本部長		(氏名)　田川　正彦　(TEL)052(262)4499
四半期報告書提出予定日	平成23年８月12日		配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成23年９月期第３四半期の連結業績（平成22年10月１日～平成23年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売　上　高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年　９月期第３四半期	12,014	6.7	438	△46.1	457	△45.3	154	△64.2
22年　９月期第３四半期	11,261	4.1	813	75.1	835	69.1	432	133.8

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年　９月期第３四半期	14.24	－
22年　９月期第３四半期	39.80	－

（２）連結財政状態

	総　資　産	純　資　産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年　９月期第３四半期	7,566	2,453	31.8	221.71
22年　９月期	6,610	2,347	35.0	212.93

(参考)自己資本　23年９月期第３四半期　2,406百万円　22年９月期　2,311百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期　末	合　計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年　９月期	－	0.00	－	10.00	10.00
23年　９月期	－	0.00	－		
23年　９月期(予想)				10.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　：無

３．平成23年９月期の連結業績予想（平成22年10月１日～平成23年９月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売　上　高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	15,170	△1.3	606	△37.6	626	△36.1	233	△49.0	21.46

(注)当四半期における業績予想の修正有無　：無

４．その他　（詳細は、【添付資料】P.２「その他」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　　：無
　　新規　－社　（社名）　　、除外　－社　（社名）

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　：無

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
　① 会計基準等の改正に伴う変更　　：無
　② ①以外の変更　　：有
　（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年９月期３Ｑ	10,856,500株	22年９月期	10,856,500株
② 期末自己株式数	23年９月期３Ｑ	72株	22年９月期	－株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年９月期３Ｑ	10,856,439株	22年９月期３Ｑ	10,856,500株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては「１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報」（３）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 1
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 1
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 1
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 2
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 2
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 2
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書 …… 5
（第３四半期連結累計期間） …… 5
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間は、３月11日に発生した東日本大震災後の原発問題、電力問題等が表面化するなか、各企業とも業績回復に向け様々な対策を講じておりますが、依然として、景気回復に向け先行き不透明な状態で推移してまいりました。

このような環境のもとで、当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は12,014百万円（前年同四半期比6.7％増）、営業利益は438百万円（前年同四半期比46.1％減）、経常利益は457百万円（前年同四半期比45.3％減）、四半期純利益は154百万円（前年同四半期比64.2％減）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

①移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、携帯電話の普及台数が12,124万台を超えましたが、ソフトバンクモバイル株式会社の積極的な営業展開のほか、スマートフォンを中心とする新機種の販売も順調に推移したことに伴い当第３四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は増加し、新規・機種変更を合わせ130,196台（前年同四半期比14.6％増）となりました。また、売上高は11,297百万円（前年同四半期比5.7％増）、営業利益は471百万円（前年同四半期比35.6％減）となりました。

②コールセンター事業（保険分野）

コールセンター事業（保険分野）につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、平成20年７月に青森県青森市に東北支店を開設して、２拠点体制とし、営業効率を更に強化して販売力の向上を図ったほか、複数の保険会社の新商品の取扱を継続しております。特に、東北支店において東日本大震災の影響があり、業績回復に努めておりますが、当第３四半期連結累計期間における売上高は547百万円（前年同四半期比1.7％増）、営業利益は37百万円（前年同四半期比49.9％減）となりました。

③不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で平成19年８月１日に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率の向上に努めております。当第３四半期連結累計期間における売上高は35百万円（前年同四半期比1.0％減）、営業利益は６百万円（前年同四半期比4.7％減）となりました。

④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネージメント株式会社は平成21年９月に設立後、平成22年７月に葬儀会館「ティア西尾」を、平成22年11月に葬儀会館「ティア桑名」を、それぞれオープンしました。また、今期中に２店舗の出店を計画しておりましたが、震災の影響により建設工事等に遅れが生じたため、営業開始が遅延し売上高が減少した他、人員等の先行投資を行った影響から、当第３四半期連結累計期間における売上高は133百万円（前年同四半期はなし）、営業損失は78百万円（前年同四半期はなし）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して、現金及び預金が10百万円減少し、売掛金が59百万円減少しましたが、商品が303百万円増加したことなどにより、流動資産が218百万円増加し、4,272百万円となりました。一方、固定資産は、有形固定資産が601百万円増加し、投資その他の資産が104百万円増加したことなどにより、737百万円増加し、3,293百万円となりました。その結果、資産総額は955百万円増加し、7,566百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末と比較して、未払法人税等が179百万円減少したものの、買掛金が513百万円増加し、短期借入金が646百万円増加したことなどにより、流動負債は883百万円増加し、3,762百万円となりました。一方、固定負債は、長期借入金が35百万円増加したものの、社債が90百万円減少したことなどにより、33百万円減少し、1,349百万円となりました。その結果、負債総額は850百万円増加し、5,112百万円となりました。

また、純資産については、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が45百万円増加し、評価・換算差額等が49百万円増加したことなどにより、105百万円増加し、2,453百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年９月期の業績予想につきましては、計画通り進捗しているため、前回予想（平成23年５月12日付の通期業績予想の修正で公表）を変更しておりません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

（資産除去債務に関する会計基準）

前連結会計年度末より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準委員会　平成20年３月31日　企業会計基準第18号）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会　平成20年３月31日　企業会計基準適用指針第21号）を適用しております。

前第３四半期連結累計期間までは当該会計基準等を適用しておりませんでしたが、収益性の変化の速度に対応するため、今後の当社グループの各事業における店舗展開と、それに伴うコスト構造の見直しを行った結果、前連結会計年度末より適用したものであります。従って、前第３四半期連結累計期間は、当該会計基準等適用後の方法によった場合に比べて、営業利益および経常利益は2,437千円、税金等調整前四半期純利益は13,262千円それぞれ多く計上されております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,726,728	1,737,031
売掛金	1,392,438	1,451,602
商品	960,490	656,561
その他	193,084	209,041
流動資産合計	4,272,741	4,054,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,218,799	1,136,664
土地	1,067,237	644,421
その他（純額）	272,703	176,104
有形固定資産合計	2,558,741	1,957,190
無形固定資産	77,006	46,085
投資その他の資産	657,692	552,994
固定資産合計	3,293,440	2,556,269
資産合計	7,566,182	6,610,507
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,247,026	733,521
短期借入金	1,566,000	920,000
未払法人税等	34,778	214,028
短期解約違約金損失引当金	－	1,000
賞与引当金	37,500	73,460
役員賞与引当金	40,038	53,900
その他	837,476	883,564
流動負債合計	3,762,819	2,879,474
固定負債		
社債	430,000	520,000
長期借入金	599,843	564,114
退職給付引当金	60,675	55,569
役員退職慰労引当金	170,230	155,730
資産除去債務	55,274	51,485
その他	33,916	36,169
固定負債合計	1,349,940	1,383,067
負債合計	5,112,759	4,262,542

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,364	729,364
資本剰余金	666,862	666,862
利益剰余金	952,597	906,598
自己株式	△13	－
株主資本合計	2,348,811	2,302,825
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58,176	8,867
評価・換算差額等合計	58,176	8,867
少数株主持分	46,434	36,272
純資産合計	2,453,422	2,347,965
負債純資産合計	7,566,182	6,610,507

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	11,261,481	12,014,310
売上原価	7,826,471	8,686,248
売上総利益	3,435,010	3,328,062
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	940,133	1,033,668
賞与引当金繰入額	41,823	37,500
役員賞与引当金繰入額	31,421	40,038
退職給付費用	13,902	14,350
役員退職慰労引当金繰入額	13,920	14,500
その他	1,580,368	1,749,711
販売費及び一般管理費合計	2,621,568	2,889,768
営業利益	813,442	438,293
営業外収益		
受取利息	413	148
受取配当金	563	3,797
補助金収入	32,800	31,011
その他	7,179	5,580
営業外収益合計	40,957	40,538
営業外費用		
支払利息	17,977	19,495
その他	631	1,995
営業外費用合計	18,609	21,490
経常利益	835,790	457,341
特別利益		
賞与引当金戻入額	10,180	9,399
固定資産売却益	－	2,967
保険差益	8,107	517
受取補償金	1,900	－
その他	1,812	574
特別利益合計	22,000	13,457
特別損失		
固定資産除却損	7,900	13,062
投資有価証券評価損	40,690	7,167
和解金	－	8,339
その他	7,335	5,535
特別損失合計	55,925	34,105
税金等調整前四半期純利益	801,864	436,694
法人税、住民税及び事業税	306,545	250,866
法人税等調整額	39,972	21,101
法人税等合計	346,517	271,967
少数株主損益調整前四半期純利益	－	164,726
少数株主利益	23,311	10,162
四半期純利益	432,035	154,563

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	801,864	436,694
減価償却費	88,748	119,930
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△19,823	△671
短期解約違約金損失引当金の増減額（△は減少）	1,000	△1,000
賞与引当金の増減額（△は減少）	△46,400	△35,960
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,378	△13,861
退職給付引当金の増減額（△は減少）	7,541	5,106
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8,620	14,500
受取利息及び受取配当金	△977	△3,946
支払利息	17,977	19,495
保険差益	△8,107	△517
固定資産除売却損益（△は益）	6,591	10,095
投資有価証券評価損	40,690	7,167
会員権評価損	－	3,750
和解金	－	8,339
売上債権の増減額（△は増加）	62,213	59,164
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,331,638	△302,537
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,830,628	513,505
未払金の増減額（△は減少）	49,206	70,606
未払消費税等の増減額（△は減少）	10,664	△131,319
その他	20,708	11,419
小計	537,150	789,958
利息及び配当金の受取額	1,193	4,002
利息の支払額	△16,739	△18,233
保険金の受取額	22,787	891
法人税等の支払額	△580,769	△426,401
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,378	350,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,620	△5,484
有形固定資産の取得による支出	△86,032	△712,002
有形固定資産の売却による収入	4,578	5,139
投資有価証券の取得による支出	△119,385	△70,618
差入保証金の差入による支出	△23,607	△2,119
差入保証金の回収による収入	5,729	2,791
預り保証金の受入による収入	415	491
無形固定資産の取得による支出	－	△39,120
その他	△14,659	△6,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,581	△827,579

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	170,000	646,000
長期借入れによる収入	150,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△191,283	△135,847
社債の償還による支出	△50,000	△90,000
配当金の支払額	△78,166	△108,565
その他	－	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	550	461,574
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△274,409	△15,788
現金及び現金同等物の期首残高	1,490,813	1,613,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,216,404	1,597,471

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

（セグメント情報等）

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間（自平成21年10月１日　至平成22年６月30日）

	移動体通信機器販売関連事業（千円）	コールセンター事業（保険分野）（千円）	不動産賃貸・管理事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,687,286	537,839	36,355	11,261,481	－	11,261,481
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	11,628	11,628	(11,628)	－
計	10,687,286	537,839	47,983	11,273,109	(11,628)	11,261,481
営業利益	731,265	75,146	6,773	813,184	(△257)	813,442

（注）１．事業区分の方法

事業は、市場の類似性を考慮して区分しております。

２．各区分に属する事業の内容

事業区分	事業の内容
移動体通信機器販売関連事業	一般ユーザーに対し、移動体通信キャリアが提供する移動体通信機器の販売および移動体通信サービスの加入契約取り次ぎを行う事業
コールセンター事業（保険分野）	保険会社からの委託を受け、医療保険等第三分野の保険の募集を行う事業
不動産賃貸・管理事業	不動産物件（駐車場）の賃貸借募集を行うと同時に、その他一般消費者の利用を目的とする事業

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間（自平成21年10月１日　至平成22年６月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社および重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第３四半期連結累計期間（自平成21年10月１日　至平成22年６月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、経営組織の形態、商品・サービスの特性から、報告セグメントを「移動体通信機器販売関連事業」、「コールセンター事業（保険分野）」、「不動産賃貸・管理事業」および「葬祭事業」の４つとしております。

「移動体通信機器販売関連事業」は、一般ユーザーに対し、移動体通信キャリアが提供する移動体通信機器の販売および移動体通信サービスの加入契約取り次ぎを行う事業であります。

「コールセンター事業（保険分野）」は、保険会社からの委託を受け、医療保険等第三分野の保険の募集を行う事業であります。

「不動産賃貸・管理事業」は、不動産物件（駐車場）の賃貸借募集を行うと同時に、その他一般消費者の利用を目的とする事業であります。

「葬祭事業」は、一般顧客に対し、葬儀の施行全般を請け負うと同時に、葬儀終了後の忌明け法要や年忌法要を請け負う事業であります。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自平成22年10月１日　至平成23年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	移動体通信機器販売関連事業	コールセンター事業(保険分野)	不動産賃貸・管理事業	葬祭事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,297,604	547,183	35,996	133,526	12,014,310	－	12,014,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	18,945	－	18,945	△18,945	－
計	11,297,604	547,183	54,941	133,526	12,033,255	△18,945	12,014,310
セグメント利益又は損失（△）	471,274	37,678	6,453	△78,012	437,393	900	438,293

（注）１．調整額は、セグメント間取引消去額であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準委員会　平成21年３月27日　企業会計基準第17号）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会　平成20年３月21日　企業会計基準適用指針第20号）を適用しております。

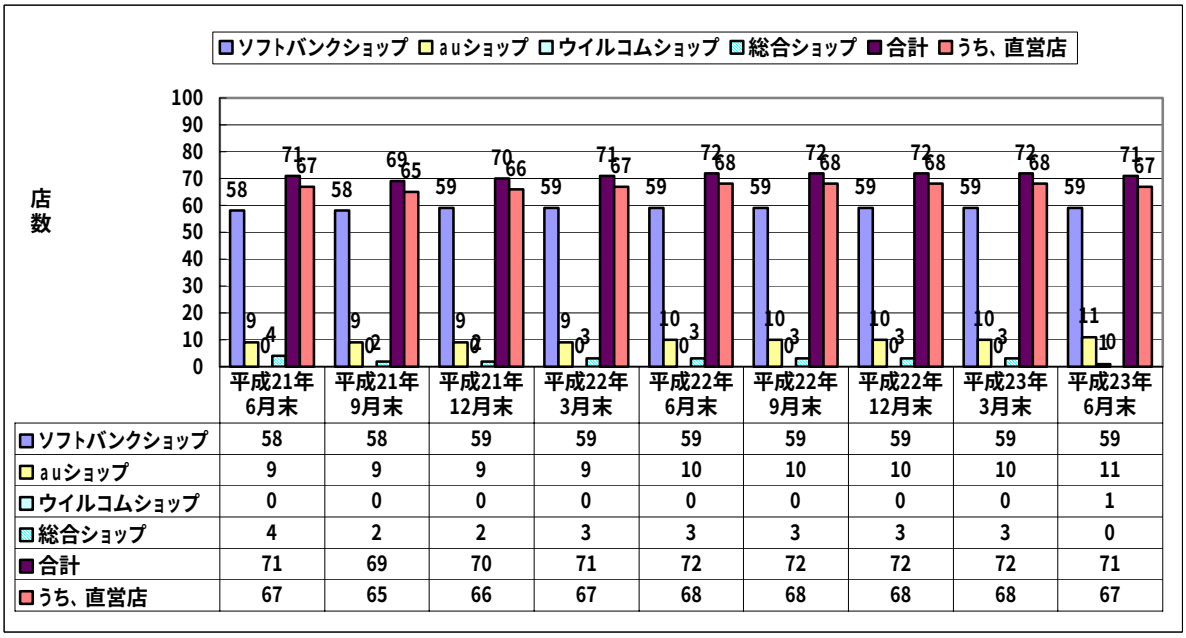
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（参考資料）

四半期毎の店舗数推移

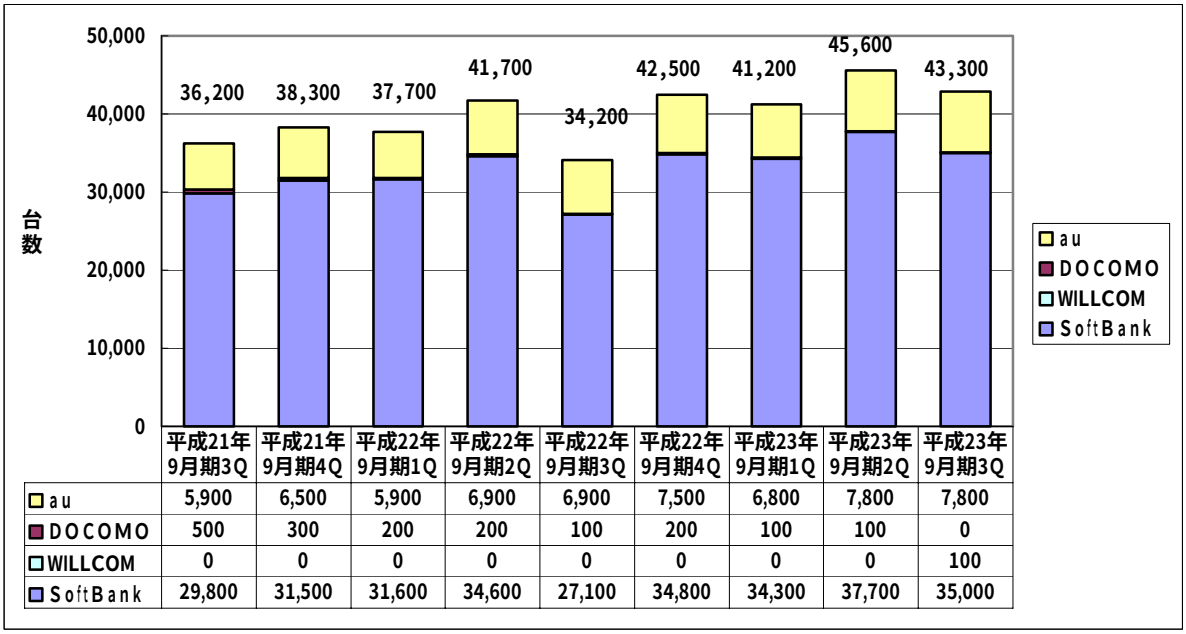
（単位：店）



	平成21年6月末	平成21年9月末	平成21年12月末	平成22年3月末	平成22年6月末	平成22年9月末	平成22年12月末	平成23年3月末	平成23年6月末
ソフトバンクショップ	58	58	59	59	59	59	59	59	59
auショップ	9	9	9	9	10	10	10	10	11
ウイルコムショップ	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総合ショップ	4	2	2	3	3	3	3	3	0
合計	71	69	70	71	72	72	72	72	71
うち、直営店	67	65	66	67	68	68	68	68	67

四半期毎のキャリア別取扱台数

（単位：台）



	平成21年9月期3Q	平成21年9月期4Q	平成22年9月期1Q	平成22年9月期2Q	平成22年9月期3Q	平成22年9月期4Q	平成23年9月期1Q	平成23年9月期2Q	平成23年9月期3Q
au	5,900	6,500	5,900	6,900	6,900	7,500	6,800	7,800	7,800
DOCOMO	500	300	200	200	100	200	100	100	0
WILLCOM	0	0	0	0	0	0	0	0	100
SoftBank	29,800	31,500	31,600	34,600	27,100	34,800	34,300	37,700	35,000

なお、台数については百台未満を四捨五入しております。

上記取扱台数に占める新規販売台数の割合及び直営店による取扱比率

（単位：%）

	平成21年9月期3Q	平成21年9月期4Q	平成22年9月期1Q	平成22年9月期2Q	平成22年9月期3Q	平成22年9月期4Q	平成23年9月期1Q	平成23年9月期2Q	平成23年9月期3Q
新規販売比率	31.6	33.8	41.2	46.4	43.4	38.6	40.7	45.5	46.1
直営店取扱比率	96.6	96.0	96.7	96.6	96.7	96.7	97.0	97.1	97.2